

農 福 連 携 事 例 集 I

～平成30年度の農作業受委託マッチングから～



赤かぶの収穫(高山市)



くりの青イガ拾い、収穫(中津川市)



野菜の栽培管理補助(関市)



目次

ページ

- 2 くりの青イガ拾い、収穫(中津川市)
- 3 ミニトマトのパック詰め(安八郡安八町)
- 3 野菜の栽培管理補助(関市)
- 4 野菜の栽培管理補助(揖斐郡池田町)
- 4 野菜の栽培管理補助(揖斐郡池田町)

ページ

- 5 富有柿の収穫(瑞穂市)
- 5 ゆずの収穫(関市)
- 6 ほうれんそうの調製(高山市)
- 6 赤かぶの収穫(高山市)
- 7 トマトハウスの片付け(中津川市)

令和元年8月発行

(一社)岐阜県農畜産公社(ぎふアグリチャレンジ支援センター)



くりの青イガ拾い、収穫（中津川市）

経緯

くりの収穫はマンパワー頼みの重労働で、「東美濃 'クリ地産地消(商)拡大' プロジェクト専門チーム会議」(事務局/恵那農林事務所)が、農福連携の検討を進めていた。ぎふアグリチャレンジ支援センターは、これと連携し、近隣の障がい者施設とのマッチングを行った。

くりの収穫は、時には草むらにも散らばっている実を取りこぼしなく拾い集める作業であることから、まずは、夏季の青イガ拾いの作業で様子を見ることにした。青イガ拾いは、害虫の発生予防のための作業。

作業内容・手順

①落果した青イガ(未熟果)を、作業用手袋をはめた手で買い物かごに集める、②かごがいっぱいになったら回収袋へ入れる

作業指示

①速さより確実性を重視する、②作業範囲を指示し、支援員が取りこぼしがないか確認する、③次の作業範囲を指示する、④休憩は支援員が指示し、随時とる

作業環境

作業時間が2時間と短いので、作業前にトイレに行き、作業中に必要になったら、支援員が事業所へ送迎。斜面では雨が降ると下草で滑りやすく危険なため、雨天の作業は中止とする。

その他

青イガ拾いの状況を見て、改めて、くりの収穫を委託した。イガごとと落果する品種で、作業用手袋をはめ、イガを割ってくりを収穫した。

受託事業所種別	就労継続支援A型
作業期間・時間帯	青イガ拾い 平成30年8月20日～28日の平日、9:15～11:15(2時間)、 雨天中止 くりの収穫 平成30年9月18日～21日の平日、9:00～11:00(2時間)
作業人数	2人
基本労賃	1時間一人800円
その他	県障がい者農の雇用モデル支援事業による労賃支援



作業範囲を指示し、取りこぼしがないか確認



青イガを手で拾いカゴに入れる



回収袋2杯分の青イガを拾った





ミニトマトのパック詰め (安八郡安八町)

経緯

ぎふアグリチャレンジ支援センターが実施した農福連携に関する意向調査がきっかけとなり、同センターが近隣の障がい者施設とのマッチングを行った。

作業内容・手順

- ①収穫トレイから選果機の供給台に実を投入する、
- ②割れている実を取り除く、③選果機のローラーに乗っている実が少なくなったら供給台に入っている実をゆっくりと送り出す、④サイズ別に選果される、⑤(サイズ別に)計量してパック*に詰める、⑥蓋をする

※別途、パックのシール張りを内職で受託

作業指示

- ①ローラーに実を入れすぎないように適量を指示、②パック詰めの際、実の汚れをふき取る、③パックに詰める重さは170～180g、④へたを下にして詰める、⑤コンテナにサイズ、パック数を明記する

作業環境

受託者から簡易トイレをレンタル、休憩場所あり



選果機の供給台の実を手でやさしく送り出す



計量は支援員と一緒に確認した

受託事業所種別	就労継続支援B型
作業期間・時間帯	平成30年9月18日～10月27日、週5日、8:30～終了まで
作業人数	4～5人
基本労賃	1パック当たり10円(シール貼り1円)他
その他	県障がい者農の雇用モデル支援事業による労賃支援



野菜の栽培管理補助 (関市)

経緯

意向を聞き、ぎふアグリチャレンジ支援センターが近隣の障がい者施設とのマッチングを行った。

作業内容・手順

にんじんの収穫・洗浄、さつまいものつる切り、マルチの植穴の草取り、たまねぎの定植等。作業が多岐にわたるため、当日の作業内容を支援員に指示した。

作業環境

圃場近くにトイレ、休憩施設あり。広大な敷地内の移動は支援員が自動車で送迎した。支援員が利用者の体調やペースを判断した。

その他

すでに作業を受託している障がい者施設があり、一緒に作業に従事した。支援員に農業知識がないと、指示された作業の理解、道具の準備、利用者への伝達、達成度の評価は難しい。

また、同じ利用者が受託期間を通して従事することが難しい、との印象。



他事業所とともに、にんじん畑の草引き作業中

受託事業所種別	就労継続支援B型
作業期間・時間帯	平成30年10月1日～平成31年1月31日、週3日、10:00～12:00(2時間)、雨天中止
作業人数	2～3人
基本労賃	1時間一人250円



野菜の栽培管理補助（揖斐郡池田町）

経緯

農業関係団体からの紹介で、ぎふアグリチャレンジ支援センターが近隣の障がい者施設とのマッチングを行った。

作業内容・手順

さつまいもの収穫補助①委託者が機械で掘り起こし、支援員がつる切りをする、②手で土を払い畝に一列に並べる、③委託者が選別し、コンテナに入れ、集める

作業環境

圃場近くにトイレ、休憩室あり
昼休憩は事業所へ支援員が送迎又は休憩室利用

その他

受託者は、播種、定植、洗浄などの作業のほか、民家の除草作業を受託しており、毎日作業に入ると区切りがつかず精神的に不安定になるので、あわせて週2回程度の作業が望ましい、との印象。



さつまいもの収穫風景



出荷のため貯蔵庫から出した
さつまいもを洗浄機で洗い、選別する

受託事業所種別	生活介護
作業期間・時間帯	平成30年9月10日～平成31年3月31日、 週1日、9:40～11:50、13:00～14:50(4時間)、 冬季時間変更有り
作業人数	3～4人
基本労賃	1グループ1時間1,000円



野菜の栽培管理補助（揖斐郡池田町）

経緯

農業関係団体からの紹介で、ぎふアグリチャレンジ支援センターが近隣の障がい者施設とのマッチングを行った。

作業内容・手順

さつまいもの収穫補助①委託者が機械で掘り起こす、②はさみでつるからいもを切り離す、③手で土を払う、④虫食いや折れたいもを選別してコンテナに入れる、⑤コンテナを集める

作業環境

圃場近くにトイレ、休憩室あり
同時に2つの障がい者施設が受託しており、それぞれ作業日を分けている。

その他

受託者は、播種、定植、洗浄、袋詰め、黒豆のさや外しなどの作業にも従事
※黒豆のさや外し、①さやから豆を外して集める、②支援員が虫食いや潰れた豆を選別する、③まめがらを指定の場所に運ぶ



直売所で販売する黒豆のさや外し作業は、少量のため手作業で行う

受託事業所種別	就労継続支援B型
作業期間・時間帯	平成30年9月25日～平成31年3月31日、 週4日、9:00～12:00(3時間)、冬季作業日変更有
作業人数	3～4人
基本労賃	1グループ1時間1,500円

※上記2件の作業は同じ農業法人で、サービス種別の違う2ヶ所の事業所が交代で作業受託しており、担当の従業員が、天候、作業内容からそれぞれの事業所の特性に合わせた作業を判断して、当日の作業を指示している。また、冬場は、作業日、作業時間を調整することにより委託を継続している。





富有柿の収穫（瑞穂市）

経緯

ぎふアグリチャレンジ支援センターが実施した農福連携に関する意向調査がきっかけとなり、同センターが近隣の障がい者施設とのマッチングを行った。

作業内容・手順

充分熟成が進んでおり、選別せず、すべて収穫する（当初は、色見本で選別して収穫の予定）①収穫ばさみで収穫し、肩から下げた収穫かごに入れる、②かごがいっぱいになったらコンテナに移す

作業指示

①コンテナを逆さにし、乗って手が届く範囲まで収穫する、②実が傷つかないように収穫ばさみでへたの付け根で枝を切る、③高い枝の実は、枝を長めに切ってから手元で切る、④実にはコンテナに上向きに並べる、⑤コンテナに詰めすぎない、⑥畑が広いので当日の収穫範囲を当日指示する



一本ずつ収穫していく

作業環境

トイレはないが、作業時間が短いので作業前に済ます。必要になれば、事業所が近いので、支援員が事業所まで送迎する。

受託事業所種別	就労継続支援B型
作業期間・時間帯	平成30年11月12日～30日の平日、 9:00～11:00（2時間）、雨天中止
作業人数	4人
基本労賃	1時間一人500円
その他	県障がい者農の雇用モデル支援事業による労賃支援



コンテナを積み上げるため詰めすぎないようにする



ゆずの収穫（関市）

経緯

意向を聞き、ぎふアグリチャレンジ支援センターが近隣の障がい者施設とのマッチングを行った。

作業内容・手順

①高枝ばさみでゆずを落とさないように収穫する、
②収穫ばさみで枝を根元で切りコンテナに詰める

作業環境

①枝のトゲでケガをしないよう専用の手袋を着用する、
②斜面では、ゆずが転がっていかないよう収穫エリアにネットを張る、③トイレは、農園付近の農家の外トイレを借りる、④障がい者農業就労支援サポーターと支援員が相談の上、休憩の声掛けを行う

受託事業所種別	就労継続支援A型
作業期間・時間帯	平成30年11月15日～30日、 10:00～12:00、12:30～14:30（4時間）、雨天中止
作業人数	3人
基本労賃	1時間一人825円
その他	県障がい者農の雇用モデル支援事業による労賃支援 県障がい者農業参入チャレンジ事業による専門家派遣



収穫ばさみを使い枝を根元で切る



ほうれんそうの調製 (高山市)

経緯

新たに包装機を導入する農業者の相談を受けた飛騨農林事務所からの紹介で、ぎふアグリチャレンジ支援センターが近隣の障がい者施設とのマッチングを行った。

作業内容・手順

①コンテナからほうれんそうを作業台に取り出す、②下葉を取る、③根を5ミリ残して切る、④タオルで汚れを取る、⑤長さによる選別、⑥一定の重さになるよう計量し束を作る、⑦包装機のベルトコンベアーに乗せる

作業環境

委託者のトイレ使用可能

その他

丁寧な反面スピードは遅くなり、作業量に対して労賃が割高、との印象。



従事する人に合った作業を分担する



受託事業所種別	就労継続支援A型
作業期間・時間帯	平成30年10月1日～18日の平日、8:30～11:30(3時間)
作業人数	2人
基本労賃	1時間一人825円
その他	県障がい者農の雇用モデル支援事業による労賃支援



赤かぶの収穫 (高山市)

経緯

ぎふアグリチャレンジ支援センターが実施した農福連携に関する意向調査がきっかけとなり、同センターが近隣の障がい者施設とのマッチングを行った。

作業内容・手順

①かぶを抜いて運ぶ、②かぶの土を手で取り除く、③包丁で葉を落とす、④かぶと葉を分けてコンテナに入れる

作業指示

①生育状況をみて収穫範囲を指示する、②葉も漬物にするためバラバラにならないように切る位置を指示する

作業環境

トイレはないため、作業中に必要になったら、支援員が事業所又は近隣で借りられる施設まで送迎する。

その他

受託者にとって、安定的な受注ではなかったが、利用者にはイベント的で、施設内の従事希望者は多かった。委託者は、防寒具の着替えなどで作業時間が少なくなることがあった、との印象。



二人一組でコンテナを運ぶ

受託事業所種別	就労継続支援B型
作業期間・時間帯	平成30年12月17日～20日、 10:00～12:00、13:00～15:00の中で調整、 雨天中止
作業人数	4～5人
基本労賃	1コンテナ当たり600円



包丁でかぶから葉を切り落とす





トマトハウスの片付け（中津川市）

経緯

ぎふアグリチャレンジ支援センターが実施した農福連携に関する意向調査がきっかけとなり、同センターが近隣の障がい者施設とのマッチングを行った。

作業内容・手順

収穫の終わった株を抜き片づける。①枝を固定していたひもを切る、②ひもをまとめて指定場所に運ぶ、③株を抜き、剪定ばさみ等で切り畝間にまとめる、④支柱を結わえているひもをはずす、⑤一畝はずしたら巻き取る、⑥支柱を抜き、数本ずつまとめて立てかける、⑦支柱を指定場所に運ぶ、⑧株をハウスの外へ出し指定場所へ運ぶ、⑨ハウス内の清掃、⑩マルチを折りたたみながらはがして指定場所に運ぶ、⑪雑草をとる

作業指示

①抜いた株は運びやすいように、塊の上から踏んでまとめておく、②支柱やかん水チューブを折らないように注意する、③雑菌を残さないためハウス内の清掃を徹底する

作業環境

トイレ、休憩室あり、カビ等が舞い上がるためマスク着用

その他

農業者にとって、片付けは、一人で行うと1カ月近くかかり、モチベーションが下がる作業。受託した障がい者施設は、農業参入の意向があり知識習得の意欲があった。作業にあたった利用者は積極的に作業に従事したことから、事後の作業受委託につながった。

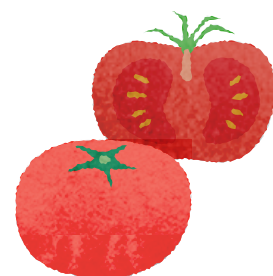
受託事業所種別	就労継続支援B型
作業期間・時間帯	平成31年1月15日～2月4日の平日、 10:00～12:00、13:00～15:00(4時間)
作業人数	4人
基本労賃	1グループ1時間2,400円
その他	県障がい者農の雇用モデル支援事業による労賃支援



支柱をすべて抜き、運び出しやすいようにまとめておく



約5メートル間隔で株をまとめておく





農作業委託（受託）のすすめ



農福連携の取り組みに対して、農業経営体からは、「(障がいのある方は) どんなことができるのか」「接し方がわからない」、障がい者施設からは、「(参入したいが) 農業の知識がない」などの意見が寄せられます。その課題解決の一つの答えが、農作業の委託(受託)です。

作業の細分化、単純化

農作業には、知識と経験が必要ですが、作業を細分化し、単純な作業にまで切り分けてゆくと、障がい者に限らず、経験が浅くても比較的容易に取り組むことができます。

見極めができる

たとえば、「草引き」では、①草を残さず順序立てて草を引いているかを見ることで、思考・判断力、パターン化していない作業への適応力を、②しゃがみ姿勢で草引きを続けているか、すぐ腰を降ろすかを見ることで、作業負担度の大きい作業に求められる体力があるかを見ることができます。*

※農業分野における障害者就労支援 知的障害者と農作業のマッチング・ハンドブック(兵庫県立淡路景観園芸学校 豊田正博氏 著、2016年3月)、24ページを参照。

「障がい者」とひとくくりにはできません。農業経営体の皆さんには、作業委託による受け入れから、障がい者施設の皆さんには、自前での農業経営を考えておられる場合も、まずは作業受託からはじめてみませんか。

農作業の受委託を成功させるポイント

思い違いのないように、事前の意思の疎通は入念に行いましょう

- 農業者には、どれくらいの作業がお願いできるのか、どうコミュニケーションを取るのかなど
の不安があり、初めて作業を委託する場合は、より単純な作業で様子をみて、より複雑な作業
指示が必要な作業をお願いする場合があります。この際、その旨を障がい者施設側に伝え、理
解を得ておきましょう。また、その場合は、一つの作業ごとに契約を行うことをお勧めします。
- 障がい者施設側には、農業の適性があるかを見たいので、従事する利用者を頻繁に変えたいと
いう意見もありますが、農業者がより単純な作業で様子をみたいと考えている場合にはトラ
ブルのもとになります。
- 支援員(障がい者施設職員)には農業の知識がない場合が多く、農業者との間で作業成果の評
価に差がでやすく、委託する農業者には割高感が残ります。受委託双方が、期待される出来高
がどれくらいかを調整しておきましょう。

ぎふアグリチャレンジ支援センターには、農業経営体に対して、作業委託などの障がい者の受け入れ
体験に対する助成や、障がい者の作業環境改善のための施設・設備の整備助成、障がい者(・施設支援員)
との間に入って作業支援を行う専門家派遣制度があります。(県障がい者農の雇用モデル支援事業、県障
がい者農業参入チャレンジ事業)

また、自前での農業経営を考えておられる障がい者施設の相談は随時受け付けております。

詳細は、ぎふアグリチャレンジ支援センターへお問い合わせください。

